



初めて山に入っただけの撮影はきつかったですね。山は素人だし、監督もスタッフも焦っていたと思います。本当に、これはもう笑うしかないだろうというような過酷な現実でした。

それでも僕が面白いなと思ったのは、山の映画なのに、メインは淡々とした測量の仕事というところなんです。何かと何かを組み合わさって答えが出るというのが、嫌いじゃないんで。測量が趣味だというものちょっといいかと思いました。この点とこの点がこうなって、その距離が出て「へえーっ!!」みたいな。だから地味ではあるけれど、柴崎さんも仕事は楽しかったんじゃないかと思うんですよ。まして誰も行ったことない場所に足を踏み入れていくわけじゃないですか。

山小屋での生活は最っ高でした。僕と香川さんは現場を楽しんで、メチャメチャやっていたから(笑)。香川さんは、ちゃんとしているのに、中身がメチャクチャ面白い。いっしょにいてすごく楽。「だから、俺たち、選ばれちゃったのかな」と(笑)。香川さんには、相当助けられましたね。

僕らとスタッフは明らかに最高の経験をさせてもらいましたね、僕自身、その場所をよくするのも、悪くするのも自分自身だということがよくわかりました。ラッキーにも木村監督に出会って、経験させてもらったけれど、この先、若い人はこういう経験ができるのだろうかと考えてしまいます。この映画を見てくれる若い人たちに伝わるかわからないけれど、すぐにNOと言うのはやめたほうがいい、自分に訪れたチャンスを断るべきではないと思いますね。

こういう映画の依頼が来たら、いくらでもやりますよ。でも、こういう仕事ばかり来てもイヤだなあ(笑)。

浅野 忠信 あさのただのぶ

1973年、香川県出身。1990年「バタアシ金魚」で映画デビュー。以後多数出演。2008年「母べえ」、「モンゴル」に出演。CMにも多数出演。